

日本通運グループは、 事業を通じて世界の人々のより良い暮らしと 持続可能な社会の発展を支えていきます。

日本通運グループは、創立100周年となる2037年に向けた長期ビジョンを策定しました。
この長期ビジョンは、「日本通運グループ企業理念」を拠り所に、安全・コンプライアンス・品質に対するこだわりを基本とした「現場力」、企業メッセージ“We Find the Way”に表現される「お客様第一の姿勢」といった「変わらぬ価値観」を土台として、「イノベーションによる新たな価値創造」を加えることにより、事業の持続的成長を果たして「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現を目指すものです。

そのありたい姿の実現に向けた第一歩が、経営計画「日通グループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～」です。この計画において、事業の具体的な成長戦略とともに定めた長期ビジョン実現のための取り組みの中で、ESG経営への取り組みをSDGs（持続可能な開発目標）との関連とともに明示しました。

計画がスタートして2年目になりますが、これまでに当社グループは長期ビジョン達成のための「取り組みを支える機能強化」と「持続的成長と企業価値向上のためのESG経営」への取り組みとして、先端技術の導入による自動化・省力化、IT基盤整備、働き方改革や環境投資、ダイバーシティ経営の推進などを実施してまいりました。

世界は今、地球温暖化や自然災害、経済格差や貧困などさまざまな社会課題に直面しています。
とりわけ2019年度に発生した新型コロナウイルス感染症は、世界規模で深刻な事態を引き起こし、物流においても大きな影響を及ぼしています。当社グループは「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現を目指す企業として、これらの社会課題の解決に向け、一丸となって取り組んでまいります。

私たち日本通運グループは、事業におけるあらゆる場面で社会が何を求め、当社グループとして何が提供できるのかを常に考え、ESG経営を実践することにより、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

日本通運株式会社
代表取締役社長 齋藤 充

